

教科目標

○社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1) 日本の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本の領土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点及び趣旨

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
歴史的 分野	○日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	○歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	○歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
公民的 分野	○個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	○現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元名	単元の目標	評価方法
4	《歴史的 分野》 江戸時代 近代国家の歩みと国際社会	①- (1) 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的な地位が向上したことを理解する。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 (レポート)
5		①- (2) 我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。 ②近代前期の社会の変化の様子や時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 ③近代前期の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	

6	《歴史的分野》 二度の世界大戦と日本	<p>①- (1) 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。</p> <p>①- (2) 経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。</p> <p>②近代後期の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>③近代後期の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 (レポート)
7	《歴史的分野》 現在に続く日本と世界	<p>①- (1) 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解する。</p> <p>①- (2) 高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解する。</p> <p>②- (1) 現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>②- (2) これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <p>③現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決する。</p>	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 (レポート)
9	《公民的分野》 現代社会と文化	<p>①現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解する。また、現代社会における文化の意義や影響について理解する。</p> <p>②少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。</p>	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 (レポート)
10	《公民的分野》 現代社会をとらえる枠組み	<p>①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解する。また、人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解する。</p> <p>②社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。</p>	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 (レポート)
11	《公民的分野》 日本国憲法	<p>①人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解する。また、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であること、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。</p> <p>②我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主</p>	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 (レポート)

12	《公民的分野》 民主政治	体的に社会に関わろうとする。	
		①国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方、国民の権利を守り社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があること、地方自治の基本的な考え方について理解する。 ②民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ③民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 (レポート)
	《公民的分野》 市場経済	①身近な消費生活を中心に経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の本質について理解する。 ②個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現する。 ③市場の動きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 (レポート)
		《公民的分野》 財政	①社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。また、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解する。 ②市場の動きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。また、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現する。 ③国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
3	《公民的分野》 国際社会		①世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解する。その際、領土(領海、領空を含む)、国家主権、国際連合の動きなど基本的な事項について理解する。また、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの現代社会に見られる諸課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。 ②日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ③世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。

定期テスト範囲 (予定)

1学期期末テスト	2学期中間テスト	2学期期末テスト	学年末テスト
○江戸時代 ○近代国家の歩みと国際社会	○二度の世界大戦と日本 ○現在に続く日本と世界 ○現代社会と文化	○現代社会をとらえる枠組み ○日本国憲法 ○民主政治	○市場経済 ○財政 ○国際社会 ○3年間の総復習

学習上のアドバイス

授業について

- ①プリントの空いているスペースやメモ欄を利用し、積極的にメモをとるようにしましょう。
- ②定期的に確認テストを実施します。
- ③自分の意見を発表したり、級友と話し合ったりする場面が多くあります。間違ってもかまいません。積極的に参加し、学習していきましょう。

家庭学習のアドバイス

- ①プリントやワークを活用し、その日の学習内容を復習するようにしましょう。
- ②確認テストの学習を積み重ねていくことで、定期テストの得点アップにつながります。

その他

- ①用語集の販売を行います。必要な人は購入し、授業や復習に活用しましょう。